

事務局長	記録者
	

平成 28 年度第 1 回大潟コミュニティ・スクール委員会 議事録

開催日時 場所	進行・記録	出席者・欠席者
平成28年 5 月17日 (火) 18:30～20:30 大潟町中学校 会議室	進行 小玉 裕 記録 長谷川和彦	出席委員 ・長澤英夫(会長) ・高橋 道代(副会長) ・平原 誉夫(事務局長) ・小林 恵子 ・チャールズ ストラットン ・黒崎 忠夫 ・小山 彰 ・井部 孝一 ・柳澤 恵子 ・熊木 勉 ・塚田 克俊 ・渡辺 章雄 ・佐野 謙一 ・長谷川敬子 ・陸川 晃 事務局 ・小玉 裕 ・長谷川和彦 ・森田 信行 大潟町小学校職員 (オブザーバー) ・浅野 一清 ・渡邊 卓司 ・合志 淳 大潟町中学校職員 (オブザーバー) ・内藤 隆 ・武田 雅人 ・小山 宏一
議事内容		
1 開会		
2 委員自己紹介		
3 会長、副会長、事務局長選出及びあいさつ ・会長：長澤英夫 ・副会長：高橋 道代 ・事務局長：平原 誉夫		
4 議事 (議長は会長)		
(1) 小学校からの説明及び承認		
①28年度学校経営方針・グランドデザイン		
②28年度夢・志チャレンジ事業の評価		
③質疑・意見交換		
○「どんどの学習」の「どんど」とは何か説明してほしい。		
→「どんど」は、「どんどの池」の水が湧き出ていることにちなみ、子どもの意欲や思い、知恵が溢れてほしいという願いを込めて名付けた。		
◎小学校の学校経営方針について承認		
(2) 中学校からの説明及び承認		
①28年度学校経営方針・グランドデザイン		
②28年度夢・志チャレンジ事業の評価		
③質疑・意見交換		
○3月の卒業式は、マスク着用の生徒が多い式であった。卒業式に出席できなかった生徒のために、「もう1回卒業式をやらないか」と呼び掛けた校長の姿勢に感銘を受けた。		

○中学校のスプリングコンサートが素晴らしかったので、もっと地域の方にも知らせ、多くの方に聴いてもらいたい。

○ぜひ小学生にも演奏を聴かせてほしい。

→スプリングコンサートの開催にあたりポスターを作っているが、更に広報活動を工夫したい。小学生を招待することも検討したい。

○来年度に小・中の校長が代わることを心配する地域の声を聞く。保護者として、学校が良くなっていることを誇りに思う。

○地域の行事に参加する先生方が増え、地域としてうれしく思う。

○小学校では、渋柿浜、上小船津浜で国道8号を通学路とする歩行実験をしている。潟町1～3区の子どもたちは、旧道から町中の道を通して実験登校している。地域の方、駐在所長からも協力をいただいている。国道8号の歩道に草が多いので、国土交通省直江津出張所に連絡をし、除草をお願いした。国道を自転車通学している中学生には、事故を防ぐために自転車のベルを鳴らしてほしい。

○ボランティアの方の保険はどうなっているのか？

→大潟町小学校の事故は保護者の方だったので、完治したらPTA補償制度から治療費が支払われる。おおがたみまもり隊には、保険の加入を検討している。

◎中学校の学校経営方針について承認

(3) 保・小・中連携

○小学校のランドデザインと中学校のランドデザインが同じ形式で、共通の土台で取り組んでいるのが良い。どちらも先のことを見据え、成果を上げている。親が変わらなければ、子どもは変わらない。小学校の学校だよりの巻頭言「心の奥」では、親へ強く訴えていたが、更に親を啓発し、遠慮しないで校長の思いを訴えてはどうか。

○6月3日からかっぱ祭りが始まる。3日は花火を打ち上げる予定である。子どもたちに大勢参加してもらい、祭りを盛り上げてほしい。

○国道の歩道を通ると歩道に草が生えている。特に国道の線路側に草が多い。中学生が自転車で通る歩道でもあるので、除草が必要である。ただし、子どもの通学路には除草剤はまかないでほしい。花壇のある側の歩道には草は全く生えていないので、やる気になれば地域で草を絶滅できるのではないか。

(4) その他

○大潟区は小中の連携をうまくやっている。中学校が小学校に乗り入れて授業までしているのは大潟区だけではないだろうか。良いことである。

○「平成28年度中学校区の子どもに身に付けさせたい資質・能力」については、家庭の協力が必要。ぜひ知らせてほしいし、上質の紙に印刷して家庭に配布したほうが良いのではないか。

○頸城区島田では、休日の午前7時30分に大人も子どもも一緒に町内でゴミ拾いをしていて、感心した。

○大潟町中学校では、町内の実態に応じて夏休みに地域貢献活動をしている。PTAや町内の方も間に入って協力して下さるので、ありがたい。

○小学生も中学生も地域に出てくるようになってきた。まずは親が変わらなければダメ。今年の課題である。

○大潟の子どもを育てる会でアウトメディアに取り組んでいるので、ぜひ家庭や地域の協力をお願いしたい。

- PTAの役員になっていろいろなことが見え、コミュニティ・スクール委員の皆さんが子どものことをいろいろと考えていることが分かった。
- 子どもの貧困が話題になっている。日本の6家庭のうち1家庭が貧困問題を抱え、大潟区にもそのような家庭がある。貧困家庭の子どもは問題行動に走りやすいと言われている。個人的には、「子ども食堂」のような取組をしたいと思っている。個人情報の問題があり、当事者から発信されない。
- 昨年度の5年生は、高齢者家庭へのかかわり訪問を実施した。この取組は地域でも話題になり、お年寄りが楽しみにしていた。学校とのかかわりのない家庭とつながる良い試みであり、これこそコミュニティ・スクールというのではない。
- ありがたいご意見である。ただし、今年度の5年生は、海の学習をしたいという願いをもっている。子どもや担任の気持ちを大事にしたい。
- 海で泳いだことのある子どもは少ないのではないか。大潟の子どもを海で泳がせたいと思っている。鶴の浜や犀潟ならば可能なのではないか。
- 学習指導要領を読み解くと、「海では水泳指導ができない」という結論になった。柿崎小では、柿崎中のプールを利用して水泳学習を行っている。海に近い子どもだけけれど、水泳ができない状況である。
- 昨年度大潟町小の6年生がスキー学習を行ったが、スキーをやったことのない大潟町小の子どもたちにとってスキー学習はありがたい。

5 事務連絡

- (1) 今後の予定
第2回：9月中旬～10月初旬，第3回：2月中旬
- (2) コミュニティ・スクール委員会関連情報や議事録のHPや学校だよりでの公開
- (3) 旅費について

6 閉会